# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|---|---|
| 施設番号 | 66-〇〇〇〇 |
| 施設名 | 敬愛クレヨン保育園 |
| 施設所在地 | 東京都八王子市散田町5-8-20 |
| 法人名 | 社会福祉法人敬愛学園 |

## 1．活動のテーマ

＜テーマ＞

光遊び　影遊び

＜テーマの設定理由＞

（テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など）
お部屋に【影】の絵本があったことから、光遊び・影遊びに興味を持ちはじめたため
また、園内がガラス張りで、光が入りやすいことから、窓ガラスに装飾をした際にできる影や形に興味を持つ姿が見られてていたため

## 2．活動スケジュール

・紙コップや紙皿にカラーフィルムを貼り、色眼鏡を作り、色のついた世界を観察。
・窓際に上記の物を飾り、太陽の光が差し込むとカラーフィルムを通すことで、光に色がつくことに気づく。
・懐中電灯にカラーフィルムを貼り、色のついた光で遊ぶ。
・懐中電灯で影遊び
・ホールのスクリーンを使って影遊び。

## 3．活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）
事前に【影】という絵本をお部屋に準備しておき、いつでも園児が見られる環境を作った。また保育者も一緒にみょんで行く中で、興味を持った事柄に対し、すぐに活動ができるよう、カラーフィルムや紙コップなど影遊びに使えそうな素材を室内に準備しておいた。遊びが広がる中で、より光遊び・影遊びを深められるよう、【HIKARI to Table】という教材を準備したり、光度の高いライトを購入していただいたことで、スクリーンに園児の全身の影を映せるような環境を整えた。

## ４．探究活動の実践

＜活動の内容＞

・作った色眼鏡をもって園内を散策した。その後懐中電灯を用意し、カラーフィルムを通して光をあて、懐中電灯を使った光遊びへと広がっていった。そこから光をあてると影ができることに気づいたことから、より光度の高いライトを用意し、影遊びへと繋げていった。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

（活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等）

・色眼鏡を作り、あえて窓際に飾ったことで、光が差し込むと光に色が付き床を照らしていることに気づき、嬉しそうに友達に声を掛け合ったり、不思議そうに床に映った光に手をかざす姿が見られた。遊びを繰り返す中で、様々な色のカラーフィルムを着けた懐中電灯の光を複数重ねると、色が変わることに気づいたり、カラーフィルムを複数重ねることで色が変わることに気づき、様々な色を重ねる実験を楽しむ姿が見られた。また懐中電灯で手を照らす中で、手が赤く光って見えることや、手を照らした先に手の形が影になって映ることに気づいた。そこから影遊びが出来るように高輝度の照明を準備し、スクリーンに光を当て、全身を使った影遊びを楽しんだ。保育者が手の形で動物の影を作ったことから、「みて！へびさんだよ！」「きつねのかげだよ！」と自分なりに手で形作りながら影遊びを楽しむ姿が見られた。

## ５．振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

・繰り返し遊びを行う中で、気づいた学びを友達と共有することで、学びをさらに深めていた。
・懐中電灯を目に向けてはいけないなど、遊ぶ際のルールもいくつかあったが、集中して遊んでいる際には、そういったルールも守りながら遊ぶことができていた。
・異年齢交流しながら遊ぶ中で、小さなクラスの友達に遊び方を伝えたり、気づいたことを互いに共有するなど、異年齢で遊ぶことでさらなる学び、遊びの発展が見られていた。
・自然への興味・関心が高まり、戸外に出た際には今まで以上に光や影、またそこから自然全般へと興味も広がっている様子が見られた。